

八森いさりび温泉

八森は、日本海と白神山地の山々に挟まれた小さな集落である。しかし、大間越街道により、16 世紀以降、旅行者が八森に足を運ぶようになった。国道 101 号線と五能線は、秋田と青森を結ぶ歴史的な道をたどっている。五能線のあきた白神駅の向かいには、八森いさりび温泉リゾートがある。ここは、地元の珍味で秋田県の県魚であるハタハタにちなんで、ハタハタ館としても知られている。このリゾート施設を利用する人のほとんどが、入浴または外の直売所で野菜を買いに来る地元の人々である。

温泉浴は、何千年も続く日本の慣習である。ほとんどすべての現代の日本の家には風呂があるが、多くの日本人は温泉に行ってくつろぎ、友達と過ごすのが好きである。ハタハタ館は、八森に観光客を呼ぶために官民連携を通じて建てられたが、ほとんどの温泉利用者は近くに住んでいる。温泉に行って他の利用者たちとおしゃべりすることは、まさに日本の田舎の生活を垣間見るための素晴らしい方法である。